

計測器校正の勘どころ

校正証明書編(第1回)・校正証明書の名称を考える

アンリツ計測器カスタマーサービス株式会社
計測テクニカルセンター
山崎 俊雄

《はじめに》

早いものでこの連載を始めてから3年が経ちました。ここまで続けられたのも読者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。さて、今回はみなさまのご関心も高いところである校正証明書について考察したいと思います。この連載も4年目に入りますが、昨年同様、本年もご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願いを申し上げます。

1. 校正結果の報告書類の名称

計測器の校正結果を報告するために用いられる書類の「名称」を集めてみると、実際には多種多様なものが使われていることが分かります。例えば、以下のような名称を見つけることができます。

- ①校正証明書 ②試験証明書 ③検査証明書
④校正成績書 ⑤試験成績書 ⑥検査成績書
⑦校正報告書 ⑧試験報告書 ⑨検査報告書
⑩その他

これらは本質的に同義である場合もありますが、一方で全く意味が異なる場合もあります。果たしてどのように区別すればよいのでしょうか。

2. 校正、検査、試験の違いとは

JISを紐解くと、「校正」、「検査」、「試験」はそれぞれ以下のように定義されていることが分かります。

- a)校正(calibration):計器又は測定系の示す値、若しくは実量器又は標準物質の表す値と、標準によって実現される値との間の関係を確定する一連の作業。(JIS Z 8103.)
b)試験(testing):手順に従った、適合性評価の対象の一つ以上の特性の確定。(JIS Q 17000)
c)検査(inspection):製品設計、製品、プロセス又は据付けの調査、及びその特性要求事項に対する適合性の確定、又は一般要求事項に対する適合性の専門的判断に基づく確定。(JIS Q 17000)

3. 評価対象による範囲の違い

実際に「検査」は、人や製品までが評価対象に含まれます。「試験」は材料、製品又はプロセスが評価対象に含まれます。「校正」は明確に計器又は測定系を評価対象にしています。これらの関係は、図1のように示すことができるでしょう。

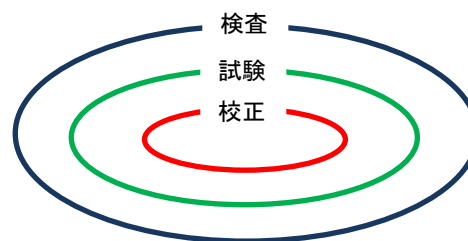


図1 校正、検査、試験の関係図

4. 証明書、成績書、報告書の違い

さて、ここからは国語の問題になります。国語辞典(広辞苑:第6版)によると、「証明」、「成績」、「報告」とは以下のように説明されています。

- ア)証明:ある事柄が事実または真理であることを、理由や証拠に基づいて証拠立てること。
イ)成績:成就した結果。できばえ。できあがり。
ウ)報告:ある任務を与えられたものが、その遂行の状況、結果について述べること。また、その内容。

ISO9001の場合、計測器を「校正」することが求められています。評価の対象を絞り、結果の真偽に責任を負う場合には、①の「校正証明書」を用いることが最も望ましい姿であると言えるでしょう。たかが名称、されど名称。できるだけ適切に使い分けたいものです。

チェック!

校正証明書の名称は、実際にはさまざまなものが使われています。「校正」、「検査」、「試験」にはそれぞれ異なる意味があります。ISO9001に対応するためには、計測器の「校正証明書」を準備するのが最適です。